

# 大会規定

尾張東部軟式少年野球リーグ

(改訂:2026年3月)

## 第1 試合時間

- 1 6イニングまたは、1時間30分とする。勝っている後攻めチームが攻撃中に1時間30分を超えた場合は、その時点で試合終了とする。
- 2 同点の場合は、リーグ戦のみ引き分けとする。トーナメントは下記の実施要領を適用する。

### 【実施要領】

- ① タイブレイクは無死満塁4番打者から行う。ただし、1回とし決着がつかなければ抽選を実施する。また、タイブレイクが不可能な場合抽選とする。
- ② 最終回のメンバーで実施し、選手交代は認める。

## 第2 コールドゲーム

降雨・日没などで試合の継続が不可能な場合、5回終了時点で成立とする。(後攻側がリードしている時5回表終了)ただし、決勝戦は適用しない。

## 第3 集合時間

チームの集合は試合開始の30分前とし、試合開始時間までに準備が整わない場合は棄権としてみなす。 ○ 試合開始時間は、双方の同意を得て早めることができる。

## 第4 審判員について

- 1 決勝戦については、主権者側の方で用意する。
- 2 リーグ戦、トーナメント戦については、主審・塁審を各2名の成人が担当する。(各チーム2名)

## 第5 使用球

大会使用球は各チーム2個ずつ提供する。(マルエスJ号球)

## 第6 投球練習

- 1 1回及び交代の時は7球以内、その他は3球以内とする。
- 2 投球練習の際、控えの選手が捕球する場合はマスクを着用すること。

## 第7 試合日程

対戦は、各チーム毎に試合を実施すること。大会ごとに決められた日程を順守すること。

## 第8 その他

- 1 当規定の定めなき事項については、(財)全日本野球連盟の発行する「競技者必携」に準ずる。ただし今大会では投球制限およびDH制は採用しない。
- 2 リーグ戦については、勝敗によって決める。ただし、順位決定で同位の場合は、当該チームの勝敗で決定する。それでも同位の場合は、①得失点差②再試合とする。
- 3 リーグ戦について、大会ごとに決められた日程に試合が消化できなかった場合は、大会事務局が状況に応じて試合運営を指示する。
- 4 春季大会のリーグ戦については、両チームの同意にて特別ルール（攻撃側のチームが1イニング5得点となった時点で攻守交替）を採用することができる。
- 5 教育リーグについては、両チームの同意にて以下の特別ルールの一方または、両方を採用することができる。
  - (1) 投手マウンドからホームまでの距離を14mとすること。
  - (2) 攻撃側のチームが1イニング5得点となった時点で攻守交替とすること。

## 第9 統合(連合)による参加

参加チームの事情により統合(連合)にて大会の参加はできることとする。ただし、事務局への事前登録をして、ユニフォームは統一又は混在のどちらでも可能とする。